

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 滋賀県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	総合病院	2
-	小児保健医療センター	3
-	精神医療センター	4
大津市	大津市民病院	5
彦根市	彦根市立病院	6
長浜市	市立長浜病院	7
長浜市	長浜市立湖北病院	8
近江八幡市	近江八幡市立総合医療センター	9
守山市	守山市民病院	10
甲賀市	信楽中央病院	11
野洲市	市立野洲病院	12
高島市	高島市民病院	13
東近江市	東近江市立能登川病院	14
公立甲賀病院組合（普通会計分）	公立甲賀病院	15

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名					
病院名 総合病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	90,746 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が 地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	535	70.8	80.2	81.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	535	70.8	80.2	81.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	14.5	14.5

設立団体の状況		
人口(人)	1,413,610	
決算規模(千円)	648,685,194	
標準財政規模(千円)	337,982,241	
財政力指数	0.57552	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	201.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収益(千円)	13,734,462

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,866,542			
1 経常収益	18,585,542			
(1) 医業収益	14,322,231			
入院収益	9,205,092			
外来収益	4,316,198			
診療収入計	13,521,290			
その他医業収益	800,941			
(うち他会計負担金)	587,769			
(2) 医業外収益	4,263,311			
(うち国・都道府県補助金)	2,067,797			
(うち他会計補助・負担金)	1,217,950			
(うち長期前受金戻入)	106,371			
(うち資本費繰入収益)	643,911			
(3) 特別利益	281,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,661,673			
2 経常費用	18,380,673			
(1) 医業費用	17,296,066			
職員給与費	8,598,713	60.0	62.1	55.8
材料費	4,459,326	31.1	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,457,571	17.2	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,001,755	14.0	11.4	13.0
減価償却費	1,464,445	10.2	9.5	8.7
経費	2,678,148	18.7	22.7	19.7
(うち委託料)	1,351,965	9.4	12.6	12.6
研究研修費	80,476			
資産減耗費	14,958			
(2) 医業外費用	1,084,607			
(うち支払利息)	227,259	1.6	1.3	1.2
(3) 特別損失	281,000			
損益				
経常損益	204,869			
純損益	204,869			
累積欠損金	17,434,569			
経常収支比率	101.1		101.9	102.5
医業収支比率	82.8		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	12.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	91.3		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,479,201
1 固定資産	31,566,532
(1) 有形固定資産	30,496,695
(2) 無形固定資産	4,625
(3) 投資その他の資産	1,065,212
2 流動資産	7,912,669
(1) 現金及び預金	3,877,424
(2) 未収金及び未収収益	3,884,128
(3) 貸倒引当金()	23,565
(4) 貯蔵品	130,928
3 繰延資産	-
負債合計	34,910,189
1 固定負債	26,502,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,987,078
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,371,416
(7) リース債務	143,980
2 流動負債	5,920,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,186
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,631
(6) リース債務	51,774
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,109,046
(9) 前受金及び前受収益	46,348
3 繰延収益	2,487,273
(1) 長期前受金	4,771,210
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,283,937
資本合計	4,569,012
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-11,846,079
(1) 資本金剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-18,003,707
負債・資本合計	39,479,201
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,805,719	1,805,719
資本勘定繰入	663,578	663,578
計	2,469,297	2,469,297

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名					
病院名 小児保健医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,970 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	47.6	70.3	67.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	47.6	70.3	67.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	9.5	8.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,413,610	
決算規模(千円)	648,685,194	
標準財政規模(千円)	337,982,241	
財政力指数	0.57552	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	201.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.2
修正医業収益(千円)	2,029,417

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,832,739			
1 経常収益	2,816,403			
(1) 医業収益	2,314,243			
入院収益	1,322,694			
外来収益	640,816			
診療収入計	1,963,510			
その他医業収益	350,733			
(うち他会計負担金)	284,826			
(2) 医業外収益	502,160			
(うち国・都道府県補助金)	14,207			
(うち他会計補助・負担金)	362,642			
(うち長期前受金戻入)	3,979			
(うち資本費繰入収益)	58,313			
(3) 特別利益	16,336			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,372,730			
2 経常費用	3,356,394			
(1) 医業費用	3,208,647			
職員給与費	1,621,051	70.0	62.1	67.4
材料費	579,969	25.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	394,021	17.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	176,111	7.6	11.4	8.8
減価償却費	166,464	7.2	9.5	10.7
経費	827,058	35.7	22.7	29.2
(うち委託料)	241,140	10.4	12.6	13.9
研究研修費	9,137			
資産減耗費	4,968			
(2) 医業外費用	147,747			
(うち支払利息)	2,393	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	16,336			
損益				
経常損益	-539,991			
純損益	-539,991			
累積欠損金	244,913			
経常収支比率	83.9		101.9	100.3
医業収支比率	72.1		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	28.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	22.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	64.6		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,479,201
1 固定資産	31,566,532
(1) 有形固定資産	30,496,695
(2) 無形固定資産	4,625
(3) 投資その他の資産	1,065,212
2 流動資産	7,912,669
(1) 現金及び預金	3,877,424
(2) 未収金及び未収収益	3,884,128
(3) 貸倒引当金()	23,565
(4) 貯蔵品	130,928
3 繰延資産	-
負債合計	34,910,189
1 固定負債	26,502,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,987,078
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,371,416
(7) リース債務	143,980
2 流動負債	5,920,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,186
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,631
(6) リース債務	51,774
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,109,046
(9) 前受金及び前受収益	46,348
3 繰延収益	2,487,273
(1) 長期前受金	4,771,210
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,283,937
資本合計	4,569,012
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-11,846,079
(1) 資本金剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-18,003,707
負債・資本合計	39,479,201
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	647,468	647,468
資本勘定繰入	60,091	60,091
計	707,559	707,559

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名					
病院名 精神医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,398 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	123	64.2	77.5	78.7
感染症	-	-	-	-
計	123	64.2	77.5	78.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,413,610	
決算規模(千円)	648,685,194	
標準財政規模(千円)	337,982,241	
財政力指数	0.57552	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	201.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	54.7
修正医業収益(千円)	1,089,459

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,989,151			
1 経常収益	1,977,980			
(1) 医業収益	1,208,943			
入院収益	864,758			
外来収益	204,138			
診療収入計	1,068,896			
その他医業収益	140,047			
(うち他会計負担金)	119,484			
(2) 医業外収益	769,037			
(うち国・都道府県補助金)	89,230			
(うち他会計補助・負担金)	510,977			
(うち長期前受金戻入)	64,257			
(うち資本費繰入収益)	68,144			
(3) 特別利益	11,171			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,060,185			
2 経常費用	2,049,014			
(1) 医業費用	1,990,927			
職員給与費	1,359,208	112.4	62.1	104.8
材料費	100,727	8.3	25.3	8.7
(うち薬品費)	81,794	6.8	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,991	1.5	11.4	1.3
減価償却費	169,586	14.0	9.5	13.5
経費	358,450	29.6	22.7	33.3
(うち委託料)	197,082	16.3	12.6	18.6
研究研修費	1,537			
資産減耗費	1,419			
(2) 医業外費用	58,087			
(うち支払利息)	10,977	0.9	1.3	2.7
(3) 特別損失	11,171			
損益				
経常損益	-71,034			
純損益	-71,034			
累積欠損金	324,225			
経常収支比率	96.5		101.9	101.4
医業収支比率	60.7		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	31.9		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	52.1		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	31.7		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	65.8		89.3	66.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,479,201
1 固定資産	31,566,532
(1) 有形固定資産	30,496,695
(2) 無形固定資産	4,625
(3) 投資その他の資産	1,065,212
2 流動資産	7,912,669
(1) 現金及び預金	3,877,424
(2) 未収金及び未収収益	3,884,128
(3) 貸倒引当金()	23,565
(4) 貯蔵品	130,928
3 繰延資産	-
負債合計	34,910,189
1 固定負債	26,502,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,987,078
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,371,416
(7) リース債務	143,980
2 流動負債	5,920,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,930,186
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	668,631
(6) リース債務	51,774
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,109,046
(9) 前受金及び前受収益	46,348
3 繰延収益	2,487,273
(1) 長期前受金	4,771,210
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,283,937
資本合計	4,569,012
1 資本金	16,415,091
2 剰余金	-11,846,079
(1) 資本金剰余金	6,157,628
(2) 利益剰余金	-18,003,707
負債・資本合計	39,479,201
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	630,461	630,461
資本勘定繰入	69,480	69,480
計	699,941	699,941

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		滋賀県	
市町村・組合名	大津市		
病院名	大津市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	345,070	
決算規模(千円)	164,110,000	
標準財政規模(千円)	71,420,301	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	198,653			
1 経常収益	198,653			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	198,653			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	64,330			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	198,653			
2 経常費用	198,653			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	198,653			
(うち支払利息)	198,653	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	32.4		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	32.4		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	67.6		89.3	93.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	64,330
資本勘定繰入	-	305,655
計	-	369,985

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	彦根市				
病院名	彦根市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	37,772 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	424	73.1	81.3	79.5
療養	-	-	-	-
結核	10	1.0	0.5	6.1
精神	-	-	-	-
感染症	4	22.7	1.4	-
計	438	71.0	78.8	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.4	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	113,647	
決算規模(千円)	63,160,897	
標準財政規模(千円)	25,379,344	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	46.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.2
修正医業収益(千円)	11,022,662

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,162,595			
1 経常収益	13,945,595			
(1) 医業収益	11,122,576			
入院収益	7,113,503			
外来収益	3,642,348			
診療収入計	10,755,851			
その他医業収益	366,725			
(うち他会計負担金)	99,914			
(2) 医業外収益	2,823,019			
(うち国・都道府県補助金)	2,026,887			
(うち他会計補助・負担金)	577,358			
(うち長期前受金戻入)	88,131			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	217,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,018,608			
2 経常費用	12,801,608			
(1) 医業費用	11,949,094			
職員給与費	5,997,554	53.9	62.1	59.8
材料費	3,092,847	27.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,751,831	15.8	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,341,016	12.1	11.4	12.4
減価償却費	798,438	7.2	9.5	8.2
経費	2,024,490	18.2	22.7	19.2
(うち委託料)	1,076,741	9.7	12.6	10.2
研究研修費	11,373			
資産減耗費	24,392			
(2) 医業外費用	852,514			
(うち支払利息)	154,718	1.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	217,000			
損益				
経常損益	1,143,987			
純損益	1,143,987			
累積欠損金	11,666,614			
経常収支比率	108.9		101.9	103.7
医業収支比率	93.1		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	103.6		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,891,182
1 固定資産	12,257,930
(1) 有形固定資産	12,123,124
(2) 無形固定資産	58,631
(3) 投資その他の資産	76,175
2 流動資産	4,633,252
(1) 現金及び預金	2,117,373
(2) 未収金及び未収収益	2,385,932
(3) 貸倒引当金()	4,592
(4) 貯蔵品	131,381
3 繰延資産	-
負債合計	13,445,416
1 固定負債	9,834,988
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,577,578
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	68,010
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,181,155
(7) リース債務	8,245
2 流動負債	2,699,282
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,006,778
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	6,723
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	429,490
(6) リース債務	87,196
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,128,359
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	911,146
(1) 長期前受金	1,667,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	756,456
資本合計	3,445,766
1 資本金	14,790,388
2 剰余金	-11,344,622
(1) 資本金剰余金	321,992
(2) 利益剰余金	-11,666,614
負債・資本合計	16,891,182
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	668,889	677,272
資本勘定繰入	616,139	616,139
計	1,285,028	1,293,411

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	104.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	長浜市				
病院名	市立長浜病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,436 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	483	53.5	63.6	63.5
療養	104	56.4	64.0	58.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	587	54.0	63.7	62.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	11.5	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	113,636	
決算規模(千円)	72,772,921	
標準財政規模(千円)	33,967,976	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,100,898			
1 経常収益	13,985,825			
(1) 医業収益	11,654,997			
入院収益	7,461,520			
外来収益	3,955,272			
診療収入計	11,416,792			
その他医業収益	238,205			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	2,330,828			
(うち国・都道府県補助金)	1,377,726			
(うち他会計補助・負担金)	663,423			
(うち長期前受金戻入)	30,490			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	115,073			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,445,408			
2 経常費用	14,330,335			
(1) 医業費用	13,390,904			
職員給与費	7,275,720	62.4	62.1	55.8
材料費	3,490,735	30.0	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,752,847	15.0	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,648,066	14.1	11.4	13.0
減価償却費	918,358	7.9	9.5	8.7
経費	1,668,688	14.3	22.7	19.7
(うち委託料)	816,616	7.0	12.6	12.6
研究研修費	20,371			
資産減耗費	17,032			
(2) 医業外費用	939,431			
(うち支払利息)	171,010	1.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	115,073			
損益				
経常損益	-344,510			
純損益	-344,510			
累積欠損金	7,022,106			
経常収支比率	97.6		101.9	102.5
医業収支比率	87.0		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	5.0		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	92.6		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,482,550
1 固定資産	17,281,279
(1) 有形固定資産	16,942,614
(2) 無形固定資産	1,852
(3) 投資その他の資産	336,813
2 流動資産	7,201,271
(1) 現金及び預金	3,159,259
(2) 未収金及び未収収益	3,289,153
(3) 貸倒引当金()	6,654
(4) 貯蔵品	59,653
3 繰延資産	-
負債合計	19,921,494
1 固定負債	13,871,726
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,644,450
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,227,276
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,967,239
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,494,594
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	557,356
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	2,592,342
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,082,529
(1) 長期前受金	3,219,165
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,136,636
資本合計	4,561,056
1 資本金	11,254,834
2 剰余金	-6,693,778
(1) 資本金剰余金	74,095
(2) 利益剰余金	-6,767,873
負債・資本合計	24,482,550
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収益(千円)	11,608,521

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	709,899	709,899
資本勘定繰入	831,063	501,743
計	1,540,962	1,211,642

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	長浜市				
病院名	長浜市立湖北病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	14,159 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	83	58.5	79.4	63.6
療養	57	87.8	85.9	78.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	70.5	82.1	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	11.0	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	113,636	
決算規模(千円)	72,772,921	
標準財政規模(千円)	33,967,976	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.7
修正医業収益(千円)	2,031,396

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,924,626			
1 経常収益	2,848,305			
(1) 医業収益	2,159,408			
入院収益	1,108,168			
外来収益	810,182			
診療収入計	1,918,350			
その他医業収益	241,058			
(うち他会計負担金)	128,012			
(2) 医業外収益	688,897			
(うち国・都道府県補助金)	163,421			
(うち他会計補助・負担金)	359,129			
(うち長期前受金戻入)	33,885			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	76,321			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,983,235			
2 経常費用	2,906,914			
(1) 医業費用	2,756,747			
職員給与費	1,769,112	81.9	62.1	67.4
材料費	346,419	16.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	170,743	7.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	151,080	7.0	11.4	8.8
減価償却費	182,953	8.5	9.5	10.7
経費	445,219	20.6	22.7	29.2
(うち委託料)	255,978	11.9	12.6	13.9
研究研修費	4,070			
資産減耗費	8,974			
(2) 医業外費用	150,167			
(うち支払利息)	22,315	1.0	1.3	1.5
(3) 特別損失	76,321			
損益				
経常損益	-58,609			
純損益	-58,609			
累積欠損金	1,227,067			
経常収支比率	98.0		101.9	100.3
医業収支比率	78.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	22.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	16.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	81.2		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,482,550
1 固定資産	17,281,279
(1) 有形固定資産	16,942,614
(2) 無形固定資産	1,852
(3) 投資その他の資産	336,813
2 流動資産	7,201,271
(1) 現金及び預金	3,159,259
(2) 未収金及び未収収益	3,289,153
(3) 貸倒引当金()	6,654
(4) 貯蔵品	59,653
3 繰延資産	-
負債合計	19,921,494
1 固定負債	13,871,726
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,644,450
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,227,276
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,967,239
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,494,594
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	557,356
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	2,592,342
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,082,529
(1) 長期前受金	3,219,165
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,136,636
資本合計	4,561,056
1 資本金	11,254,834
2 剰余金	-6,693,778
(1) 資本金剰余金	74,095
(2) 利益剰余金	-6,767,873
負債・資本合計	24,482,550
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	511,571	487,141
資本勘定繰入	165,531	42,572
計	677,102	529,713

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	近江八幡市				
病院名	近江八幡市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,937 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	403	85.6	90.6	92.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	40.8	-	-
計	407	85.2	89.8	91.1
平均在院日数(一般病床のみ)		9.1	9.1	9.0

設立団体の状況		
人口(人)	81,122	
決算規模(千円)	46,525,236	
標準財政規模(千円)	18,877,749	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.2
修正医業収益(千円)	11,970,507

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,260,665			
1 経常収益	14,038,306			
(1) 医業収益	12,228,666			
入院収益	8,586,463			
外来収益	3,130,969			
診療収入計	11,717,432			
その他医業収益	511,234			
(うち他会計負担金)	258,159			
(2) 医業外収益	1,809,640			
(うち国・都道府県補助金)	947,483			
(うち他会計補助・負担金)	662,205			
(うち長期前受金戻入)	26,356			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	222,359			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,583,688			
2 経常費用	13,280,056			
(1) 医業費用	12,442,113			
職員給与費	6,423,782	52.5	62.1	59.8
材料費	3,084,934	25.2	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,552,338	12.7	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,532,596	12.5	11.4	12.4
減価償却費	787,182	6.4	9.5	8.2
経費	2,120,246	17.3	22.7	19.2
(うち委託料)	1,251,868	10.2	12.6	10.2
研究研修費	22,616			
資産減耗費	3,353			
(2) 医業外費用	837,943			
(うち支払利息)	186,552	1.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	303,632			
損益				
経常損益	758,250			
純損益	676,977			
累積欠損金	2,998,331			
経常収支比率	105.7		101.9	103.7
医業収支比率	98.3		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	6.5		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	98.8		89.3	93.1

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,554,211
1 固定資産	14,483,726
(1) 有形固定資産	14,096,528
(2) 無形固定資産	4,051
(3) 投資その他の資産	383,147
2 流動資産	9,070,485
(1) 現金及び預金	6,155,916
(2) 未収金及び未収収益	2,863,320
(3) 貸倒引当金()	7,180
(4) 貯蔵品	58,429
3 繰延資産	-
負債合計	17,437,796
1 固定負債	13,027,313
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,626,194
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,401,119
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,797,067
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,073,896
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,132
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,283,282
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	613,416
(1) 長期前受金	1,126,388
(2) 長期前受金収益化累計額()	512,972
資本合計	6,116,415
1 資本金	9,112,454
2 剰余金	-2,996,039
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,996,039
負債・資本合計	23,554,211
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	920,364	920,364
資本勘定繰入	140,286	140,286
計	1,060,650	1,060,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	守山市				
病院名	守山市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,819 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	151	77.3	83.1	71.1
療養	48	82.1	88.0	83.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	79.1	85.2	76.4
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	15.3	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	83,236	
決算規模(千円)	45,844,227	
標準財政規模(千円)	17,489,889	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	0.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	574,321			
1 経常収益	519,884			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	519,884			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	387,956			
(うち長期前受金戻入)	131,921			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	54,437			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	353,112			
2 経常費用	353,112			
(1) 医業費用	309,288			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	221,560	-	9.5	10.7
経費	86,975	-	22.7	29.2
(うち委託料)	744	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	753			
(2) 医業外費用	43,824			
(うち支払利息)	35,708	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	166,772			
純損益	221,209			
累積欠損金	1,958,545			
経常収支比率	147.2		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	74.6		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	67.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	37.4		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,023,615
1 固定資産	3,848,864
(1) 有形固定資産	3,839,700
(2) 無形固定資産	1,380
(3) 投資その他の資産	7,784
2 流動資産	174,751
(1) 現金及び預金	174,659
(2) 未収金及び未収収益	3
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,731,946
1 固定負債	2,361,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,167,772
(2) その他の企業債	194,200
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	516,132
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	235,346
(2) その他の企業債	194,200
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	86,586
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	853,842
(1) 長期前受金	3,801,994
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,948,152
資本合計	291,669
1 資本金	2,227,881
2 剰余金	-1,936,212
(1) 資本金剰余金	22,333
(2) 利益剰余金	-1,958,545
負債・資本合計	4,023,615
不良債務	106,035
実質資金不足額	62,635
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	22,919	387,956
資本勘定繰入	135,007	139,262
計	157,926	527,218

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	106,035	-
令和元年度	106,028	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	300,235
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	甲賀市				
病院名	信楽中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,244 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	40	52.5	60.8	53.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	52.5	60.8	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		23.2	19.8	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	88,358	
決算規模(千円)	50,652,037	
標準財政規模(千円)	25,594,517	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(%)	92.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	56.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.7
修正医業収益(千円)	432,076

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	689,922			
1 経常収益	686,472			
(1) 医業収益	470,437			
入院収益	194,924			
外来収益	198,289			
診療収入計	393,213			
その他医業収益	77,224			
(うち他会計負担金)	38,361			
(2) 医業外収益	216,035			
(うち国・都道府県補助金)	5,370			
(うち他会計補助・負担金)	184,512			
(うち長期前受金戻入)	23,548			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,450			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	743,945			
2 経常費用	738,060			
(1) 医業費用	712,192			
職員給与費	483,960	102.9	62.1	89.0
材料費	79,094	16.8	25.3	14.0
(うち薬品費)	52,631	11.2	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,659	4.2	11.4	5.4
減価償却費	47,726	10.1	9.5	13.0
経費	100,791	21.4	22.7	47.1
(うち委託料)	57,889	12.3	12.6	22.5
研究研修費	262			
資産減耗費	359			
(2) 医業外費用	25,868			
(うち支払利息)	8,851	1.9	1.3	1.3
(3) 特別損失	5,885			
損益				
経常損益	-51,588			
純損益	-54,023			
累積欠損金	765,720			
経常収支比率	93.0		101.9	98.5
医業収支比率	66.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	32.5		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	47.4		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	32.3		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	62.8		89.3	64.4

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,094,487
1 固定資産	895,648
(1) 有形固定資産	895,648
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	198,839
(1) 現金及び預金	126,047
(2) 未収金及び未収収益	70,751
(3) 貸倒引当金()	1,403
(4) 貯蔵品	3,444
3 繰延資産	-
負債合計	1,103,276
1 固定負債	534,218
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	426,313
(2) その他の企業債	70,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	37,905
(7) リース債務	-
2 流動負債	115,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,886
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,303
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	21,084
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	453,785
(1) 長期前受金	639,598
(2) 長期前受金収益化累計額()	185,813
資本合計	-8,789
1 資本金	261,195
2 剰余金	-269,984
(1) 資本金剰余金	464,230
(2) 利益剰余金	-734,214
負債・資本合計	1,094,487
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	8,789
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,403	222,873
資本勘定繰入	41,008	41,108
計	181,411	263,981

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	162.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	野洲市				
病院名	市立野洲病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,458 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	199	58.8	65.6	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	58.8	65.6	-
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	19.9	-

設立団体の状況		
人口(人)	50,513	
決算規模(千円)	28,671,850	
標準財政規模(千円)	12,942,154	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	66.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.3
修正医業収益(千円)	2,462,904

損益計算書(千円%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,426,872			
1 経常収益	3,333,004			
(1) 医業収益	2,618,787			
入院収益	1,550,104			
外来収益	772,686			
診療収入計	2,322,790			
その他医業収益	295,997			
(うち他会計負担金)	155,883			
(2) 医業外収益	714,217			
(うち国・都道府県補助金)	433,405			
(うち他会計補助・負担金)	137,326			
(うち長期前受金戻入)	123,485			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	93,868			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,899,517			
2 経常費用	2,805,472			
(1) 医業費用	2,726,977			
職員給与費	1,805,596	68.9	62.1	67.4
材料費	242,445	9.3	25.3	17.7
(うち薬品費)	130,865	5.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	111,580	4.3	11.4	8.8
減価償却費	138,397	5.3	9.5	10.7
経費	538,186	20.6	22.7	29.2
(うち委託料)	228,557	8.7	12.6	13.9
研究研修費	1,729			
資産減耗費	624			
(2) 医業外費用	78,495			
(うち支払利息)	321	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	94,045			
損益				
経常損益	527,532			
純損益	527,355			
累積欠損金	-			
経常収支比率	118.8		101.9	100.3
医業収支比率	96.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	108.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円%)	
区分	決算額
資産合計	4,400,838
1 固定資産	2,589,941
(1) 有形固定資産	2,451,379
(2) 無形固定資産	115,535
(3) 投資その他の資産	23,027
2 流動資産	1,810,897
(1) 現金及び預金	1,298,955
(2) 未収金及び未収収益	490,097
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	20,804
3 繰延資産	-
負債合計	2,708,308
1 固定負債	1,449,251
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,399,251
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	50,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	334,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	64,657
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	100,398
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	169,410
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	924,592
(1) 長期前受金	1,050,936
(2) 長期前受金収益化累計額()	126,344
資本合計	1,692,530
1 資本金	865,353
2 剰余金	827,177
(1) 資本金剰余金	52,013
(2) 利益剰余金	775,164
負債・資本合計	4,400,838
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	293,209	293,209
資本勘定繰入	75,536	75,536
計	368,745	368,745

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	高島市				
病院名	高島市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,789 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	206	66.6	80.5	83.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	97.5	-	-
計	210	67.2	79.0	82.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.6	14.3	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	46,377	
決算規模(千円)	35,137,890	
標準財政規模(千円)	17,194,976	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	15.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,841,828			
1 経常収益	5,745,390			
(1) 医業収益	4,002,721			
入院収益	2,331,437			
外来収益	1,304,725			
診療収入計	3,636,162			
その他医業収益	366,559			
(うち他会計負担金)	174,496			
(2) 医業外収益	1,742,669			
(うち国・都道府県補助金)	1,053,508			
(うち他会計補助・負担金)	466,504			
(うち長期前受金戻入)	185,803			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	96,438			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,297,410			
2 経常費用	5,119,775			
(1) 医業費用	4,930,139			
職員給与費	2,803,243	70.0	62.1	66.1
材料費	814,577	20.4	25.3	19.8
(うち薬品費)	390,007	9.7	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	388,128	9.7	11.4	9.3
減価償却費	387,681	9.7	9.5	10.2
経費	914,076	22.8	22.7	28.2
(うち委託料)	494,602	12.4	12.6	13.6
研究研修費	7,006			
資産減耗費	3,556			
(2) 医業外費用	189,636			
(うち支払利息)	25,379	0.6	1.3	1.6
(3) 特別損失	177,635			
損益				
経常損益	625,615			
純損益	544,418			
累積欠損金	2,680,262			
経常収支比率	112.2		101.9	99.9
医業収支比率	81.2		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.0		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	99.7		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,347,244
1 固定資産	5,037,811
(1) 有形固定資産	4,944,147
(2) 無形固定資産	1,913
(3) 投資その他の資産	91,751
2 流動資産	2,309,433
(1) 現金及び預金	1,190,556
(2) 未収金及び未収収益	1,082,541
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	35,427
3 繰延資産	-
負債合計	4,116,923
1 固定負債	1,827,362
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,827,362
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	634,110
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,070
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	173,278
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	260,901
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,655,451
(1) 長期前受金	3,193,038
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,537,587
資本合計	3,230,321
1 資本金	5,540,482
2 剰余金	-2,310,161
(1) 資本剰余金	370,101
(2) 利益剰余金	-2,680,262
負債・資本合計	7,347,244
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.6
修正医業収益(千円)	3,828,225

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	696,489	641,000
資本勘定繰入	80,631	85,617
計	777,120	726,617

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	67.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				滋賀県	
市町村・組合名	東近江市				
病院名	東近江市立能登川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,203 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	102	55.1	66.2	65.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	102	55.1	66.2	65.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.7	13.9	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	112,819	
決算規模(千円)	62,643,632	
標準財政規模(千円)	31,022,590	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	137,952			
1 経常収益	137,952			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	137,952			
(うち国・都道府県補助金)	1,118			
(うち他会計補助・負担金)	130,987			
(うち長期前受金戻入)	5,845			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	132,458			
2 経常費用	132,458			
(1) 医業費用	92,095			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	77,122	-	9.5	10.7
経費	4,279	-	22.7	29.2
(うち委託料)	912	-	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	10,694	-	-	-
(2) 医業外費用	40,363	-	-	-
(うち支払利息)	32,795	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	5,494			
純損益	5,494			
累積欠損金	166,560			
経常収支比率	104.1		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	95.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	95.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	5.3		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,129,324
1 固定資産	2,039,550
(1) 有形固定資産	2,015,219
(2) 無形固定資産	3,295
(3) 投資その他の資産	21,036
2 流動資産	89,774
(1) 現金及び預金	86,606
(2) 未収金及び未収収益	4,213
(3) 貸倒引当金()	1,045
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,223,328
1 固定負債	851,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	846,615
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,859
(7) リース債務	-
2 流動負債	220,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	218,981
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,422
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	151,451
(1) 長期前受金	371,650
(2) 長期前受金収益化累計額()	220,199
資本合計	905,996
1 資本金	1,066,556
2 剰余金	-160,560
(1) 資本金剰余金	6,000
(2) 利益剰余金	-166,560
負債・資本合計	2,129,324
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	21,818	130,987
資本勘定繰入	107,096	36,013
計	128,914	167,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		滋賀県	
市町村・組合名	公立甲賀病院組合(普通会計分)		
病院名	公立甲賀病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	82.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	931,535	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	131.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	116,988			
1 経常収益	116,988			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	116,988			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	38,121			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	116,988			
2 経常費用	116,988			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	116,988			
(うち支払利息)	116,988	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	32.6		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	32.6		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	67.4		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	58,682	38,121
資本勘定繰入	290,670	188,824
計	349,352	226,945

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。